

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年 6月 10日

仕事の内容	学校図書館指導員配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 32 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 11	教育指導管理事務費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内小中学校に在籍する全児童・生徒					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 児童・生徒数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 毎日読書する児童生徒数を増やす。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 未読率(1日当たりの読書時間として「全く読書をしていない率」) 小学5年生、中学2年生(東京都学力調査の対象学年)			
	③ そのために何をしましたか。 図書館指導員の配置時間を増やす。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 配置時間数			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	6,640	6,609	6,571		
	成果指標	②の数値	%	小学5年生:13.7 中学2年生:26.7	小学5年生:11.7 中学2年生:23.2	小学5年生:11.2 中学2年生:27.1		
	目 標	②の目標値	%			小学校:5%、中学校10%	小学校:5%、中学校10%	小学校:5%、中学校10%
		目標値設定の考え方	東大和市学校教育振興基本計画の施策の一つとなっており、未読率を数値を目標に設定し					
	活動指標	③の数値	時間	8,315.5	8,352	10,778.5		

3 経費	事業費		円	12,223,785	12,277,440	15,899,925	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	12,223,785	12,277,440	15,899,925	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	207,750	207,750	207,750		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	12,431,535	12,485,190	16,107,675		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 本事業は、平成15年度から平成17年度までの研究事業(試行)期間を経て、平成18年度から本格実施に移行した。当初は、小学校2校、中学校1校をモデル校に指定した。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成18年度以降順次配置校を増やした。児童生徒の活字離れや学力低下が問題となる中、基礎学力の定着を図る必要があり、学校図書館の有効活用を図る取り組みが各地で行われた。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	平成18年度の本格実施以降、全国各地の市議会から関心が高く、多くの視察を受け入れ、現状、課題等の説明を行っている。	

仕 事 の 内 容	学校図書館指導員配置事業			
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係 課長名 岡田 博史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	お話会や本の修理などで図書ボランティアを活用している。 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 ボランティアとの打ち合わせ時間が不足している。				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
	学校図書館指導員の配置時間が足りない。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	1校あたりの学校図書館指導員の配置時間を増やし(現在1日4時間週20時間勤務としているが、図書整備等の時間が不足するため、1日6時間勤務すること)、学校が求める成果に繋げたい。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 平成18年度の本格実施から順次配置校を増やし、平成20年度をもって全校配置が完了したが、優秀な人材を確保するためには、嘱託員の勤務条件の改善(時間単価の引き上げ)と学校が求める配置時間数の確保(1日6時間程度)を進めたい。			
(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成 果	成果を向上させる。		経 費	仕事の経費を増加させる。